

Lesson5

文型 (SVOO 型) / いいかげんにして! (^_^;)

Give me a break.

SVO型にもう1つ**目的語**がついたのが**SVOO**型です。代表的な**SVOO**型の動詞は **give** です。まずは、**give** の例文で**SVOO**型の形を覚えておくと良いです。また、多くの場合、**The waiter gave me water.** 「そのウェイターは私に水をくれました。」のように**SV 人+物**という構成を取ることを覚えておきましょう。

このレッスンを受講することで**SVOO**型について理解できます。

■ Topics

文型 (SVOO 型) / Give me a break.

Topic1 SVOO 型の構成と例文

Topic2 SVOO 型の動詞

Topic3 SVOO 型の注意点

Wrap-up

DVD 版では練習問題の解説も行います。



Give me a break.

■ Topic1

SVOO 型の構成と例文

SVO 型にもう一つ**目的語**（名詞や名詞に相当するもの）が加わるのが **SVOO 型**です。1つ目の**目的語**に「人（に）」、2つ目の**目的語**に「物（を）」という構成になることが多いです。

例：Lisa gave her son a new toy.

「リサは彼女の息子（人）に新しいおもちゃ（物）を与えました。」

●"SV 人+物" の例：

My mother gave me her old computer.

「私の母は私に彼女の古いパソコンをくれました。」

主語(S)代名詞+名詞 my mother (私の母)	述語動詞(V) 動詞 gave (～に～を与えた)	目的語(人) 代名詞 me (私に)	目的語(物) 代名詞+形容詞+名詞 her old computer (彼女の古いパソコン)
-----------------------------------	------------------------------	-----------------------	--

●"SV 物1 +物2" の例：

Those templates will give your presentation a professional look.

「それらのテンプレートを使ってプレゼンテーションを作るとプロっぽい仕上がりになるでしょう。」

主語(S)形容詞+名詞 Those templates それらのテンプレート	述語動詞(V)助動詞+動詞 will give (～に～を与えるでしょう)	目的語(物1) 代名詞+名詞 your presentation あなたのプレゼンテーション	目的語(物2)冠詞+形容詞+名詞 a professional look (プロっぽい外観)
--	---	--	--

●"SV 人1 +人2" の例：

I found him a nice teacher.

「私は彼に良い先生を見つけてあげた。」

主語(S) 代名詞 I (私)	述語動詞(V) 動詞 found (～に～を見つけた)	目的語(人1) 代名詞 him (彼に)	目的語(人2) 冠詞+形容詞+名詞 a nice teacher (1人の良い先生)
--------------------	--------------------------------	-------------------------	---

■ Topic2

SVOO 型の動詞

SVOO 型の動詞には **give 型**、**buy 型**、**ask 型**の3つがあります。これらは **SVOO 型**の2つの**目的語の順番**を入れ替えた時、どのような**前置詞**をとるかにより分類したものです。でも、表現によっては**目的語の順番**を変えられないものもあります。例えば、**I will give it a try**. 「私はそれを試してみます。」は順番を入れ替えることはできません。順番を入れ替えることができるかどうかについては表現や内容により異なります。

●give 型 : give, hand, lend, pass, pay, sell, send, show, teach, tell など。

The postman handed Mr. Johnson a letter.

「その郵便配達人はジョンソンさんに1通の手紙を手渡しました。」

主語(S) 冠詞+名詞 the postman (その郵便配達人)	述語動詞(V) 動詞 handed (~に~を手渡した)	目的語(人) 代名詞 Mr. Johnson (ジョンソンさん)	目的語(物) 冠詞+名詞 a letter (一通の手紙)
---	------------------------------------	--	----------------------------------

注意 : **The postman handed a letter to Mr. Johnson.** と**目的語の順番**を入れ替えることができます。このように**目的語**を入れ替えることができる場合、**give** 型の動詞は **to** を使います。

●buy 型 : buy, cook, find, get, make など。

I will find you a nice apartment.

「あなたのために良いアパートを見つけてあげましょう。」

主語(S)代名詞 I (私)	述語動詞(V) 助動詞+動詞 will find(~に~を見つけましょう)	目的語(人) 代名詞 you (あなたに)	目的語(物) 冠詞+形容詞+名詞 a nice apartment (良いアパート)
-------------------	--	--------------------------	---

My roommate cooked me a meal yesterday.

「昨日、私のルームメートは私に食事を作ってくれました。」

主語(S)代名詞+名詞 my roommate (私のルームメート)	述語動詞(V) 動詞 cooked (~に~を料理をした)	目的語(人)代名詞 me (私に)	目的語(物)冠詞+名詞 a meal (1つの食事)	追加情報 副詞 yesterday (昨日)
--	-------------------------------------	----------------------	-------------------------------	------------------------------

注意 : **My roommate cooked a meal for me yesterday.** のように**目的語の順番**を入れ替える時、**buy** 型の動詞は **for** を使います。

注意 : **bring** などは **to** と **for** の両方を使うことが可能です。到達点を意味する場合は **to** を使います。(例 : **He brought a letter to Ms. Sullivan.** 「彼はサリバンさんに手紙を持ってきました。」) 誰かの利益になるような意味の場合には **for** を使います。(例 : **I brought a present for you.** 「あなたにプレゼントを持ってきました。」)。

●ask 型 : ask

The manager asked me a favor.

「その部長は私に頼み事をしました。」

主語(S) 冠詞+名詞 The manager(その部長)	述語動詞(V) 動詞 asked(~に~を頼んだ)	目的語(人)代名詞 me(私に)	目的語(物) 冠詞+名詞 a favor (1つの頼み事)
----------------------------------	------------------------------	---------------------	----------------------------------

注意 : **The manager asked a favor of me.** **目的語の順番**を入れ替える場合は **of** を使います。

Topic3

SVOO型の注意点

● They gave Tom it. とはしない。

2つめの目的語が it や them などの代名詞の場合は SVOO型で表現できません。



They gave it to Tom. 「彼らはトムにそれをくれました。」



They gave Tom it. ←SVOO型にはできません。(2つめの目的語が it)

注意：他の代名詞 (this, that, one) は語順を変えずに使うこともあります。

They gave me one. 「彼らは私に1つくれました。」

スコアアップ!

(DVD版のみ収録)



例題：The detective gave _____ .

- a. Mary information
- b. information Mary

ここでは、SVOO型 (SV 人+物) の形になる a. Mary information が答えになります。

目的語の語順が正しいかどうかは意味から判断する必要があります。「メアリーに情報を与える」のか「情報にメアリーを与えるのか」のどちらが正しいのかを考え判断します。情報にメアリーを与えるのはおかしいので、The detective gave Mary information. 「その探偵はメアリーに情報を与えました。」が良いことがわかります。なお、They gave information to Mary. と to を入れると似たような意味の文になることも覚えておいてください。

The detective gave Mary information. 「その探偵はメアリーに情報を与えました。」

いいかげんにしてくれ!

い **SVO** 型の後ろにもう1つ目的語をつけるなんて **Give me a break.** 「いいかげんにしてよ!」なんて思っている人もいるのではないのでしょうか?でも、英語ってこういう言葉なんです。例えば、ハンバーガーを買う時、単品で買うこともできるし、ポテトフライをつけることができます。このくらい軽い感じにとらえてください。ところで、**Give me a break.** は直訳すると「私にお休みをください。」という意味なのですが、ここから転じて「いいかげんにしてくれ!」という意味になります。少し休んでよく理解してくださいね。

コーヒーブレイク (DVD版のみ収録)

Wrap-up

- **SVOO** 型の代表的な動詞は **give** です。
- **SVOO** 型は"**SV** 人+物"の語順になることが多い。
- **Give me it.** とはしない。



Give me a break.
いいかげんにして!(^_^;)

述語動詞(V) 動詞

Give (~に~を与えなさい)

目的語(人) 代名詞

me (私に)

目的語(物) 冠詞+名詞

a break(休み)

Practice

先生の解説を聞き、下記の練習問題を解いてみましょう。(DVD版のみ収録)

1. The reporter _____ us the way to the station.
a. gave
b. showed
c. looked
d. was
2. The management _____ our section leader permission to work on the project.
a. asked
b. gave
c. considered
d. made
3. The man _____ the presenter how to deal with difficult situations.
a. asked
b. bought
c. cooked
d. brought

Homework

このレッスンに関連した下記の練習問題に挑戦してみましょう。

1. Please pass _____ the bottle.
a. I
b. me
c. my
d. mine
2. The tenant must pay the landlord _____ by the end of each month.
a. rented
b. renting
c. be rented
d. the rent
3. The clerk handed _____ a leaflet.
a. each guest
b. to each guest
c. for each guest
d. each guest's

■ Explanation - Practice

1. The reporter showed us the way to the station.

「そのレポーターは私達に駅までの道を案内してくれました。」

解説：b. **showed** 「案内した」(動詞の過去形)が正解。後ろが目的語(人)：**us**、目的語(物)：**the way** となっているので **SVOO** 型の使い方がある動詞を選ぶのがポイントです。

a. **gave** 「与えた」(動詞の過去形)も **SVOO** 型の動詞なのですが「そのレポーターは私達に駅までの道を与えた。」のような意味になり不自然です。c. **looked** 「～に見えた、見た」(動詞の過去形)ですが、**SVOO** 型の使い方はないので入れることはできません。d. **was** 「～でした」(be 動詞の過去形)も、**SVOO** 型の使い方はありません。

2. The management gave our section leader permission to work on the project.

「その経営陣は私達の部門のリーダーにそのプロジェクトを行う許可を与えました。」

解説：b. **gave** 「与えた」(動詞の過去形)が正解。後ろを見ると目的語(人)：**our section leader**、目的語(物)：**permission** となるため、**SVOO** 型を取れる動詞を選びます。b. **gave** の他にも **SVOO** 型をとれる選択肢もありますが、意味として **b.gave** が最も自然です。**permission to work on the project** の **to work** は **permission** を修飾する形容詞的用法の不定詞です。

a. **asked** 「尋ねた」(動詞の過去形)も **SVOO** 型をとることができますが、経営陣が下の立場の人間に許可を求めるような意味になり、不自然になってしまいます。c. **considered** 「考えた」(動詞の過去形)は **SVOO** 型の動詞ではないので入れられません。d. **made** 「作った」(動詞の過去形)は **SVOO** 型の使い方がありますが、意味が不自然になってしまいます。

3. The man asked the presenter how to deal with difficult situations.

「その男性は発表者に難しい状況にどのように対処したらよいか尋ねました。」

解説：a. **asked** 「尋ねた」(動詞の過去形)が正解。後ろを見ると目的語(人)：**the presenter**、目的語(物)：**how to deal with difficult situations** となっています。そのため、選択肢よりどの **SVOO** 型の動詞を入れると、意味として自然かどうかを検討します。

b. **bought** 「買った」(動詞の過去形)、c. **cooked** 「料理した」(動詞の過去形)、d. **brought** 「持ってきた」(動詞の過去形)は全て **SVOO** 型の使い方がありますが、意味が不自然になってしまいます。

■ Explanation - Homework

1. Please pass me the bottle. 「そのボトルを私に渡してください。」

解説：b. **me** 「私に」(代名詞の目的格)が正解。文や選択肢の構成から見て、**SVOO** 型の文であることが分かります。目的語なので代名詞を入れる場合は目的格となります。me は **SVOO** 型の **pass** の目的語となることができます。

a. **I** 「私」(代名詞の主格)、c. **my** 「私の」(代名詞の所有格)は目的語にはなりません。d. **mine** 「私の物」(所有代名詞)を入れると意味が不自然になってしまいます。

2. The tenant must pay the landlord the rent by the end of each month.

「賃借人は各月末に大屋に家賃を支払わなくてはなりません。」

解説 : **d. the rent** 「その家賃」(冠詞+名詞)を入れると文が成り立ちます。**SV00** 型の2つ目の目的語として入れる単語を選ぶ問題です。ここでは **SV** 人+物という形になっています。**d. the rent** を入れると「大屋に家賃を支払う」という意味になります。

a. rented 「借りした、貸した」(動詞の過去形、過去分詞)は目的語にはなりません。また、過去分詞として **rented** を入れるには前の単語が貸す対象である必要があります。例 : **the house rented to Tom** 「トムに貸し出されているその家」。**b. renting** 「賃貸している」(動詞の **ing** 形 : 現在分詞) または「借りすること、貸すこと」(動詞の **ing** 形 : 動名詞) は、「家賃」の意味にはならないので答えにはなりません。また、**renting** に目的語をつけ **the landlord renting a house** 「1つの家を貸している家主」という構成は可能ですが、ここでは後ろに目的語になりそうな単語は見当たらないのであてはまりません。**c. be rented** 「借りされている、貸されている」(**be** 動詞+過去分詞 : 受身形) も目的語として入れることはできません。不定詞の **to** がついていれば目的語にすることができる場合もありますが、ここではそのようにしても不自然な文になってしまいます。

3. The clerk handed each guest a leaflet. 「事務員はお客さまに小冊子を手渡しました。」

解説 : **a. each guest** 「それぞれのお客さま」(名詞に相当する句)が答えです。**SV00** 型(**SV** 人 物)の1つめの目的語(人)として入れるので前置詞がついていない **each guests** が最適です。また、**each** には名詞の単数形をつけます。そのため、**each guest** (**each** + 名詞の単数形)となっています。

b. to each guest 「それぞれのお客さまに」(前置詞+名詞)は **to** が不要です。**c. for each guest** 「それぞれのお客さまの」(前置詞+名詞)は **handed** につなげることはできません。また、**d. each guest's** 「それぞれのお客さまの」(名詞の所有格)は直後に冠詞の **a** では無く、名詞が必要になります。